

DUET

デュエット

2025.4
VOL.34

GUIDE DOG
MAGAZINE



特集

誰もが活躍する未来へ

～盲導犬の受け入れ あんな工夫・こんな工夫～

寄附金控除の対象になります

DUETサポーター

継続的にご支援を
いただく寄附制度です



盲導犬の育成普及事業を
継続的にご支援いただく
寄附サポーター制度です。
ご支援いただく方法は
クレジットカード・
郵便振替・銀行振込より
お選びいただけます。

月1
サポーター
(毎月)

クレジットカード限定

500円 / 1,000円

サポーター
(年1回)

クレジットカードがおすすめ

3,000円 / 5,000円 /
10,000円

法人サポーター
(年1回)

50,000円

募金箱設置店も
募集中



クレジットカードでのご寄附※は
こちらから

※お持ちのパソコン・スマートフォンからの
お申込手続きが必要です。



<https://congrant.com/project/gd-rengokai/6976>

まずは、お気軽にお電話ください。/

☎03-5367-9770

DUET

2025年4月発行 編集人/篠田 林歌 認定NPO法人 全国盲導犬施設連合会 発行
〒162-0065 東京都新宿区住吉町5-1 吉村ビル2階
TEL.03-5367-9770 FAX.03-5367-9771 www.gd-rengokai.jp info@gd-rengokai.jp

年1回4月発行

誰もが活躍する未来へ

～盲導犬の受け入れ あんな工夫・こんな工夫～



盲導犬ユーザー※がスーパーや病院、公共の乗り物など多くの人が普段出入りする場所を盲導犬と一緒に利用することは法律で認められています。

盲導犬が店舗や施設に入ってくると、どうしていいか戸惑うことがあるかもしれませんが、どうすれば、互いに気持ちよく利用できるのか？一緒に考えていきましょう。今号では、ユーザーから聞いた実際にスムーズに受け入れていただいたときの工夫をご紹介します。

※盲導犬ユーザー…盲導犬使用者のこと。以下、ユーザー。



設立30周年を迎えて 御礼のごあいさつ

全国盲導犬施設連合会は、全国的に盲導犬の普及を進めることで、視覚障害者の自立と社会参加へ貢献することを目的に、全国の盲導犬協会が参加して発足し、2025年4月をもちまして30周年を迎えました。

盲導犬育成・普及に深い理解をもって応援して下さる皆様へ、心より感謝申し上げます。

盲導犬の普及を通じ、視覚に障害のある人々の、安全で自由な社会参加を実現できるよう、これからも役職員一同力を合わせて邁進してまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



2025年4月

認定NPO法人 全国盲導犬施設連合会



全国の盲導犬へ温かい応援をお願いします



ご協力方法

都度寄附でのご支援

本誌挟み込みの郵便払込取扱票または銀行振込をご利用ください。クレジットカードによる寄附も可能です。



<https://congrant.com/project/gd-rengokai/7620>

DUETサポーターになる

募集中!

継続的にご支援いただく制度です。詳しくは本誌裏表紙をご覧ください。



<https://congrant.com/project/gd-rengokai/6976>

遺産を寄附する(遺贈)

大切な方やご自身の遺産を盲導犬の育成に役立てることができます。少額でも受け付けておりますのでぜひ一度、ご検討ください。



https://www.gd-rengokai.jp/fund_rasing1.html

詳しくは ☎03-5367-9770 までお電話ください



盲導犬の受け入れ 好事例

ご紹介している各画像はイメージです



ケース1 飲食店

・テーブル席の飲食店に入店した時、人の出入りが激しくない場所の席に案内してくださり、イスを1つ外して盲導犬の待機スペースを作ってくれて、とても利用しやすかった。

・壁側の席に案内していただき、盲導犬はテーブルの下で待機。退席する際、店員さんは盲導犬が寝ていたこと、周りのお客さんも気づかないぐらい大人しくしていたことを驚かされていた。



ケース2 医療機関

・病院内の掲示板上に「盲導犬は障害者のパートナーです！」という周囲への理解を求めるポスターを貼ってれていた。

・予約の時点で盲導犬がいることを伝えると、診察室には入れないと言われた。以前利用した際は、診察室まで盲導犬が同伴できていたので、人によって対応が違う。そこで、協会からマニュアル作成のために参考資料の送付や相談に乗るなどしてもらった結果、診察室までの同伴が可能となり、マニュアルも作成された。



タクシー車内では足元で伏せます



盲導犬の受け入れ 2つの法律をご存知ですか？

身体障害者補助犬法

お店や病院、ホテルなど不特定多数の人が利用する施設や乗り物を、障害のある方が盲導犬・介助犬・聴導犬（総称「補助犬」）を同伴して利用することを拒んではいけないとする法律です。

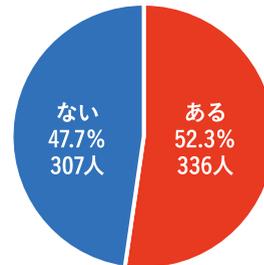
この法律では社会・ユーザー・育成団体それぞれに次のような義務が定められています。

社会	補助犬同伴による施設利用を受け入れる
ユーザー	補助犬の衛生・健康・行動管理
育成団体	質の高い補助犬の育成

この3つの義務をそれぞれがお互いに果たすことで、ユーザーは自分らしく社会参加ができ、社会も安心して盲導犬を受け入れることができます。



2019年1月から12月の1年間で、盲導犬の受け入れ拒否を受けたことがありますか？



「盲導犬受け入れ全国調査」2020年3月最新の調査結果はWEBサイトで公開中！

しかし、残念ながら盲導犬同伴による「受け入れ拒否」が後を絶ちません。当連合会が2020年に調査した結果によると、過去1年間で、盲導犬同伴で受け入れ拒否を経験したことがあるユーザーは、約半数以上でした。まだまだ、法の周知が浸透していないのが現状です。



障害者差別解消法

2016年には新しく「障害者差別解消法」という法律ができました。この法律では、障害を理由とした「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」が義務付けられています。

例えば、「盲導犬と一緒にいるため入店を拒否する」ことは、「不当な差別的取扱い」にあたります。

そして、飲食店で犬が苦手だと言うお客様の申し出があった時に、双方の了解を得た上で、お互いに離れた位置になるよう配席することなどが「合理的配慮の提供」にあたります。

ぜひ、正しい知識と盲導犬を使用する視覚障害者の方へのご理解をお願いします。

ケース3 公共交通機関

・盲導犬とバスを利用していた際、他の乗客から「犬が何で乗っているの？」と言われた。それを聞いていた運転手さんが「補助犬なので利用できます」とマイクを通して車内にアナウンスしてくれた。

・外出先から自宅までタクシーに乗った際、運転手の方が「盲導犬にもゆつくり過ごしてもらいたいから」という配慮で、こちらが願っている前に、助手席を前に移動し、車内の待機スペースを広く作ってくれた。



盲導犬ユーザーからのメッセージ／ 沢山の出会いと善意に感謝



偶然、盲導犬育成の募金活動を見かけた際に、活動に参加していた盲導犬ユーザーから、「ひとりであちこち行けるようになった」と聞き、興味を持ちました。当時は、白杖で歩いていましたが、ひとりでの外出が難しかったこともあり、盲導犬と歩きたいと思いました。

榎木 裕明さん&盲導犬マーベル
(新潟県)



🐾 マーベルと一緒に阪神応援!

盲導犬と歩くようになり、知らない人からよく声をかけられるようになりました。

阪神タイガースが好きで、マーベルと一緒に野球観戦をしますが、阪神ファンが「野球観戦をする犬なんて見たことがない」と声をかけてくれて、マーベルも一緒にみんなで野球を楽しんでいます。

出会いの話でもう一つ。私は総合学習の授業で、10年以上学校を訪問していますが、大きくなった子供たちが、「榎木さん。〇〇学校の〇〇です。学校で榎木さんから盲導犬について習いました」と私に声をかけてくれることがあります。

🐾 いつものスーパーで入店拒否…

さまざまな出会いが増え、盲導犬がいて良かったと思う一方で、盲導犬入店拒否も残念ながらあります。

とある日、普段から利用しているスーパーへ買い物に行ったところ、警備員から「うちは盲導犬でも入れません」と、入店を断られたことがありました。スーパーの従業員に対しては盲導犬の受け入れ方針がしっかり共有されていたのですが、警備員は警備会社から来ていたため、補助犬の受け入れについて知らなかったようです。スーパー以外にも、タクシーの乗車拒否などもあるので、盲導犬同伴拒否のない社会になることを願っています。

🐾 皆様へのメッセージ

皆様からの善意の募金により、盲導犬と歩くことができます。ありがとうございます。私が募金活動に参加している時も、いろいろな人が、「募金活動がんばって」と声をかけてくれます。総合学習で知り合った子供たちや先生、日頃利用しているお店の店員さんが、募金に協力してくれることもあり、さまざまな出会いに心から感謝しています。



ユーザーに
聞いた

盲導犬の受け入れ 好事例



ケース4
スーパー

・盲導犬と買い物に行き、サービスカウンターで買い物のお手伝いをお願いすると、欲しい物がある売り場まで店員さんが案内して説明してくれて、レジで会計する時もサポートしてくれた。

ケース5
美容院

・カットする間、入り口付近に待機していた盲導犬が、落ち着かない様子。それに気づいた店員さんが、私に相談してくれて、「盲導犬はユーザーさんの近くにいますのが一番安心しますよね」と配慮してくれて、自分の椅子の近くにあるテーブル下に待機させてくれることになった。

ユーザーもこんな工夫・ケアをしています

ユーザーは盲導犬と外出する際、盲導犬にコートを着せたり、敷物を持参するなど、できるだけ犬の毛が飛び散らないように各自で配慮しています。

また、日頃からブラッシングやシャンプーなどにより、盲導犬は清潔に保たれています。

そして、盲導犬の予防接種・健康診断も欠かさず行い、健康管理の記録を手帳として保持しています。

これらの盲導犬の健康・衛生管理は、はじめにご紹介した「身体障害者補助犬法」でユーザーに義務付けられており、盲導犬協会からも十分な訓練・指導を受けています。



まずは受け入れを

盲導犬同伴の対応にお困りのことがあったら、ユーザーご本人に、どのようにすればよいかお尋ねください。ユーザーと会話していく中で、ユーザー側からも盲導犬同伴について、どのような方法があるのか、工夫や解決策を提案できます。

「どうすれば、盲導犬をお連れのお客様にも気持ちよく利用していただけなのか？」

正解はお客様とのコミュニケーションの中から生まれます。



皆様に支えられ

盲導犬はこんな一生を送ります



1 誕生

盲導犬に適した血統を持つ繁殖犬から生まれます。

2 生後2か月頃

パピーウォーカー（子犬を飼育するボランティア）の家庭で、愛情をこめて育ててもらいます。

3 訓練スタート

1歳になると、盲導犬協会に戻ってきて、約6～12ヶ月間、盲導犬になるための訓練を受け、その間に盲導犬としての適性が評価されます。

4 共同訓練

盲導犬としての適性が認められ、訓練を修了した犬は、視覚障害者との共同訓練に入ります。視覚障害者は、盲導犬との歩き方や世話の仕方を学びます。さらにユーザーとなる視覚障害者の生活エリアで歩行指導も受けれます。

5 共に歩く

ユーザーと盲導犬は互いに協力し、パートナーとしての絆を深めていきますが、ユニットとなった後も、必要に応じて盲導犬協会から盲導犬との生活や歩行のフォローアップが行われます。

6 ハーネスを外す日

盲導犬は10歳前後を目安に引退します。引退した盲導犬はボランティアの家で家族の一員として楽しく暮らしたり、育った協会で十分なケアを受けながら、最期まで皆に愛されて過ごします。

盲導犬と歩くユーザーに出会ったら

皆様への大切なお願い



盲導犬は工作中、**白または黄色のハーネス**をつけています。



無断で盲導犬やユーザーの写真、動画などを撮らないでください。

ユーザーは目の見えない、見えにくい方ですので、突然シャッター音がすると何を撮られているのか分からず不安になります。またユーザーが写り込む場合は本人のプライバシー侵害になりますし、カメラのシャッター音やフラッシュにより、盲導犬が仕事に集中できなくなる可能性もあります。

盲導犬の写真を撮りたい場合はユーザーに事前に声をかけ、了解をとってください。

ユーザーの方へ声をかけてください。

盲導犬を連れていても道に迷ったり、周囲の状況が分からずユーザー自身が不安になる場合があります。

ユーザーが困っている様子を見かけた際は、盲導犬にではなく、ユーザーの方に「何かお手伝いしましょうか」と声をかけてください。

ハーネスをつけた盲導犬は「工作中」です。

盲導犬がハーネスをつけているときは、歩いている、いないにかかわらずさわったり、声をかけたりしないようお願いいたします。また、さわらなくても犬の目をじっと見つめるのもやめましょう。気が散ってユーザーの指示に集中できなくなってしまいます。

盲導犬におやつなどの食べ物をあげないでください。

盲導犬は、健康管理のため、そしてトイレのタイミングをコントロールするために食事の時間・量も決まっており、犬の体質に合ったドッグフードを、ユーザーが与えています。「かわいい」と思っても、食べ物や水を与えないでください。

都道府県別の盲導犬実働数 796頭[※]

※全国盲導犬施設連合会に加盟していない育成団体の数字も含む

北海道…41	埼玉県…48	静岡県…28	鳥取県…4	佐賀県…4
青森県…6	千葉県…20	愛知県…32	島根県…10	長崎県…4
岩手県…6	東京都…97	岐阜県…7	岡山県…13	熊本県…5
宮城県…18	神奈川県…63	三重県…7	広島県…19	大分県…7
秋田県…9	新潟県…22	滋賀県…9	山口県…16	宮崎県…10
山形県…6	富山県…4	京都府…9	徳島県…7	鹿児島県…10
福島県…17	石川県…10	大阪府…52	香川県…6	沖縄県…8
茨城県…17	福井県…7	兵庫県…32	愛媛県…12	
栃木県…8	山梨県…14	奈良県…15	高知県…6	
群馬県…10	長野県…16	和歌山県…3	福岡県…22	

2024年3月31日現在

社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会 自立支援施設部会盲導犬委員会
「2023年度盲導犬訓練施設年次報告書」より



募金箱設置・寄附協力企業

敬称略・あいうえお順

- アークランズ(株)
- (株)イトーヨーカ堂
- (株)エコス
- (株)銀座マギー
- ジェームス
- (株)セブン&アイ・フードシステムズ
- (株)たいらや
- (株)ダイエー
- フェリシモ基金事務局
- (株)フジ
- (株)ベルシステム
- (株)マスタ
- (株)明光ネットワークジャパン
- メットライフ生命保険(株)
- ユニー(株)
- (株)和真&和真フレンドショップ

以上の企業様のほか個人店舗設置の募金、企業や大勢の個人の皆様のご寄附・ご協力により、当連合会の活動は支えられ、運営されています。

皆様からお寄せいただく募金・寄附は、盲導犬無償貸与事業にかかる費用として役立てられる他、盲導犬を育てる訓練士の資格認定、全国的なイベントでの啓発活動など、盲導犬事業のための、共通に関わる費用として、活用させていただきます。

パトラッシュの募金箱
全国各地で活躍中!



©NIPPON ANIMATION CO., LTD.

パトラッシュ基金

全国盲導犬施設連合会と日本アニメーションが発足した「パトラッシュ基金」では、募金箱の設置、各種イベントでの募金活動、インターネット募金の受付などの活動を行っております。

詳しくは公式サイト、もしくは全国盲導犬施設連合会までお問い合わせください。

日本アニメーション株式会社
〒104-0061
東京都中央区銀座7-13-20 銀座THビル5階

公式サイト www.nippon-animation.co.jp/patrashe/



補助犬OKの気持ちはステッカーで表示を!

身体障害者補助犬法*が2002年に成立されてから20年以上がたちました。しかしながら、盲導犬同伴を理由に、施設や乗り物の利用を断られるケースがまだまだ後を絶ちません。2020年に実施した当連合会の全国調査では盲導犬受け入れ拒否を経験したユーザーは全体の5割を超えていました。

そこで、当連合会では一般のお客様に補助犬に対する理解を深めていただくとともに、補助犬ユーザーの方々安心して各施設を利用できることを趣旨とした「補助犬同伴可ステッカー」を作成し、お店の入口等に貼っていただけるよう無償で配布しています。

「補助犬同伴可ステッカー」についてのお問い合わせは全国盲導犬施設連合会にお電話(03-5367-9770)、もしくは当連合会ホームページをご覧ください。

*施設や乗り物等に補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)を同伴することができるようになった法律



〈補助犬同伴可ステッカー〉

メットライフ生命は1995年以来、盲導犬育成活動のご支援を続け、2025年で30周年を迎えました。



MetLife
メットライフ生命

いい明日へ、ともに進んでゆく。

www.metlife.co.jp
承認番号: 2024-12-026

2024
(令和6)
年度

全国盲導犬施設連合会 主な活動報告



認定NPO法人全国盲導犬施設連合会には、日本全国の国家公安委員会の指定を受けた盲導犬協会8団体(P13～P14参照)が加盟しています。皆様からお寄せいただいた募金・寄附は日本全国の盲導犬育成と普及の為に、大切に活用させていただきました。

「盲導犬普及啓発活動」を日本全国で25回実施

多くの皆様へ盲導犬について知ってもらうために全国各地へ出向き、盲導犬の仕事や訓練方法を紹介するイベントを実施しました。(主には募金箱設置店や寄附協力企業のご協力により開催)



ダイエー補助犬ふれあい教室・コーナー
(株式会社ダイエー)



盲導犬ふれあい広場
(株式会社フジ)

イベント情報は
公式Facebookに
掲載しています!



パトラッシュ基金 ～活動報告～



盲導犬ふれあいイベント
(株式会社イトーヨーカ堂)



ラスカル子ども映画祭
(撮影:2024年2月)

2024年度も、インターネット募金、各種イベントでの募金活動を実施しました。パトラッシュ基金は現在、5千万円を越える金額を皆様よりお寄せ頂いております。ご協力頂いた皆様へ心よりお礼申し上げます。

Yahoo!ネット募金 パトラッシュ

検索

<https://donation.yahoo.co.jp/detail/3823001/>



盲導犬受け入れの促進

●補助犬同伴可ステッカー・盲導犬ハンドブックの配布

盲導犬をはじめ補助犬ユーザーの受け入れをスムーズにするため、店舗入口等に貼っていただく「補助犬同伴可ステッカー」や、盲導犬使用者の受け入れ方法をイラスト付きでまとめた「盲導犬ハンドブック」を配布しました。

●盲導犬受け入れ全国調査(2025)の実施

盲導犬同伴による施設利用の実態について把握するため、全国のユーザーを対象に全国調査としては2回目となる「盲導犬受け入れ全国調査(2025)」を実施しました。

調査結果は当連合会WEBサイトで公開中です。



盲導犬普及を進める広報誌を発行



●「DUET33号」とポスターを
発行(年1回)
盲導犬の訓練について特集。
募金箱と一緒に常設する他、
各種イベントで配布しました。

●「盲導犬情報」を発行(年2回)

盲導犬ユーザー、点字図書館、行政などへ盲導犬に関する情報を提供する為の冊子です。
点字版、CD(音声デジター)版の他、墨字(活字)版も発行しています。



全国盲導犬施設連合会
WEBサイトでも閲覧可能
全国盲導犬連合会

検索



盲導犬育成・フォローアップ費用への助成



無償で貸与している盲導犬の育成費用に対する自治体からの助成金には頭数・金額に限りがあるため、盲導犬協会が、視覚障害者の方へ盲導犬を貸与する場合、全国盲導犬施設連合会から一部補助として、1頭ごとに200万円の助成・補助を実施しています。2024年度は15頭分を助成・補助しました。2022年度からは、当連合会加盟の盲導犬協会が行っているユーザーと盲導犬へのフォローアップ費用についても助成を実施しています。

盲導犬訓練士・歩行指導員の資格認定



全国どこの盲導犬協会でもほぼ同じレベルの盲導犬を輩出できるように、盲導犬候補犬を訓練する「盲導犬訓練士」と、視覚障害者へ盲導犬との歩き方や日々の世話の方法などを指導する「盲導犬歩行指導員」の資格認定を行っています。筆記試験・実技審査の結果、2024年度は訓練士4名と歩行指導員2名の資格を認定しました。

加盟施設職員相互研修事業の実施



各盲導犬協会の担当職員が中心となり、盲導犬事業について研修テーマを選定し、相互研修事業を5回実施。パピープログラムや訓練、犬の福祉や防災など、研修テーマは多岐にわたりました。担当者が日頃抱えている課題を共有し、協会の垣根を超えて互いの知識・技能を学びあえる貴重な機会となりました。

皆様のご支援・ご協力で2024年度の事業を行うことができました。誠にありがとうございました。

国家公安委員会指定 加盟施設一覽



認定NPO法人

全国盲導犬施設連合会

HPアドレス: www.gd-rengokai.jp
〒162-0065 東京都新宿区住吉町5-1 吉村ビル2階 TEL 03-5367-9770 FAX 03-5367-9771

公益財団法人 関西盲導犬協会

会長 平芳 一法 HPアドレス: kansai-guidedog.jp

〒621-0027 京都府亀岡市曾我部町犬飼末ヶ谷18-2
TEL 0771-24-0323 FAX 0771-25-1054

世界的にも稀な木造犬舎「木香テラス」では、より家庭に近い環境の中で盲導犬を育成しています。木香テラスで育った盲導犬とともに、視覚障害者が安全に歩行し、安心して暮らせるよう、盲導犬の育成、社会への啓発活動に積極的に取り組んでいます。



社会福祉法人 日本ライトハウス

理事長 橋本 照夫 HPアドレス: www.lighthouse.or.jp

法人本部 〒538-0042 大阪府大阪市鶴見区今津中2-4-37
TEL 06-6961-5521 FAX 06-6968-2059

盲導犬訓練所 〒585-0055 大阪府南河内郡千早赤阪村東阪1202
TEL 0721-72-0914 FAX 0721-72-0916

日本ライトハウスは目の見えない・見えにくい方のための総合福祉施設として日本で初めてリハビリテーションセンターを開設しました。視覚障害リハは100周年を迎え、盲導犬事業も50年を超えて視覚障害者へのサービスを続けています。多くのボランティアの皆様を支えられながら、これからも継続的な盲導犬の作出に努力してまいります。



社会福祉法人 兵庫盲導犬協会

理事長 三條 真由美 HPアドレス: www.moudouken.org

神戸総合 〒651-2212 兵庫県神戸市西区押部谷町押部24
訓練センター TEL 078-995-3481 FAX 078-995-3483
KLCオフィス 〒652-0802 兵庫県神戸市兵庫区水木通2丁目
1番9号 中山記念会館3F
TEL 078-521-0081 FAX 078-521-0082

視覚障害者が笑顔で安全に歩けるように…役職員一同、情熱を持って盲導犬育成に取り組み、盲導犬使用者それぞれのニーズに応じたサービスを提供しております。また、社会全体へ視覚障害者や盲導犬への理解を深めて頂くために、地域の小・中学校や商業施設での啓発活動にも力を注いでいます。



公益財団法人 九州盲導犬協会

理事長 中村 博文 HPアドレス: www.fgd.or.jp

〒819-1122 福岡県糸島市東702-1
TEL 092-324-3169 FAX 092-324-3386

「良質な盲導犬を一日でも早く、一頭でも多く届けたい。」当協会創業以来の変わらぬモットーです。総合訓練センターでは、盲導犬使用者の皆様快適にご利用いただける施設としてサービスの向上に努めてまいります。



公益財団法人 北海道盲導犬協会

会長 伊藤 信賢 HPアドレス: www.h-guidedog.org

〒005-0030 北海道札幌市南区南30条西8丁目1-1
TEL 011-582-8222 FAX 011-582-7715

最北端に位置する当施設は、雪道歩行訓練、利用者のニーズに応じた生活訓練、老犬ホームの運営など、視覚障がい者の支援と安心のために様々な取り組みに挑戦しています。待っている人達の笑顔のために、一刻も早く応えることが目標です。



公益財団法人 東日本盲導犬協会

理事長 松本 カネ子 HPアドレス: www.guide-dog.jp

〒321-0342 栃木県宇都宮市福岡町1285番地
TEL 028-652-3883 FAX 028-652-1417

視覚障害者に対する地域リハビリテーションを重視し、地域に根ざした良質なサービス提供を心がけています。主に関東一円で、盲導犬の育成・提供をはじめ、白杖歩行訓練も行っております。



公益財団法人 日本盲導犬協会

理事長 金高 雅仁 HPアドレス: www.moudouken.net

仙台 〒982-0263 宮城県仙台市青葉区茂庭字松倉12-2
訓練センター TEL 022-226-3910 FAX 022-226-3990
神奈川 〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田町6001-9
訓練センター TEL 045-590-1595 FAX 045-590-1599
日本盲導犬総合センター 〒418-0102 静岡県富士宮市人穴381
TEL 0544-29-1010 FAX 0544-54-3030
島根あさひ 〒697-0426 島根県浜田市旭町丸原155-15
訓練センター TEL 0855-45-8311 FAX 0855-45-1139
広島事務所 〒731-0223 広島県広島市安佐北区可部南5-11-22
TEL 082-554-9500 FAX 082-554-9501
東京事務所 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町21-3-3F
TEL 03-5452-1266 FAX 03-5452-1267

1967年8月に厚生省(設立当時)の認可を受け、日本で最初に設立された盲導犬育成団体です。全国に4か所の訓練センターを有し、視覚障害者の自立と社会参加を推進するため、盲導犬の育成・訓練、リハビリテーション訓練などを行い、視覚障害者福祉の増進と社会のバリアフリー促進に寄与しています。



社会福祉法人 中部盲導犬協会

理事長 伊藤 賛治 HPアドレス: www.chubu-moudouken.jp

〒455-0066 愛知県名古屋市中港区寛政町3-41-1
TEL 052-661-3111 FAX 052-661-3112

「両手持ち」を特徴とした盲導犬の育成。かつて身を挺して盲導犬使用者を交通事故から守った盲導犬「サーブ」を育てる。視覚障害者の「安全なガイド」と「心の癒し」を保証するために日々努力しています。

